

規模縮小の卒業式

岩日タイムズ

発行者 日本大学
岩瀬 高等学校
ソーシャルメディア部

鈴木 千章
鴨志田 絳花

新型コロナウイルスの影響響く

令和元年度 卒業式

3月2日、本校体育館において、令和元年度卒業式が行われた。在校生に加え保護者の出席も叶わず、全員がマスクを着用し、規模を縮小した異例の卒業式だった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止にともなう政府の要請により、在校生が祝福し、保護者が温かく見守るといった、



全員がマスクを着用して式に臨んだ



例年のような卒業式ができなかった。それでも171名の卒業生は、規模縮小となった卒業式を凛とした立派な姿で臨んでいた。

現生徒会長の堀中ひなさんの送辞に続いて、前会長の山崎祐杜さんの答辞では、桜瑛祭を機にクラスの絆が深まり、充実した高校生生活がスタートしたこと、その後、自身も生徒会活動に挑戦したことに触れ、「一日一日を大切に過ごす」「やろうと思ったことはすぐに行動に移すと、思わぬ景色が見えてくる」という在校生へのメッセージを、参列した教員に伝えてくれた。(時杉)



黒板には華やかなお祝いのメッセージが(3-3)



後輩から
メッセー
私たちが在校生一同、3年生の先輩には、

後方の保護者席は空席にとてもお世話になり、その立派な背中を見てたくさん刺激を受けました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。新型コロナウイルスの影響により、直接お祝いの言葉を伝えることができませんが、心残りなのですが、卒業生の皆さまにはそれぞれの進路に向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。(鈴木)

編集後記

新型コロナウイルスの影響により、毎年恒例であった国立コース受験報告会も中止になり、先輩からの体談を聴くことができなくなりました。在校生だけでなく、保護者までもが参列できない異例の卒業式を迎えることとなりました。本校も苦渋の決断を強いられたという。しかし、他の学校では式を中止する事態も見られる中で、本校では卒業生と先生方だけあったが、無事に卒業式を行うことができてよかったと思っ

臨時休業のため、今までお世話になった先輩が本校から立つ瞬間を見送ることができなかったのは非常に残念であるが、先輩が本校に残した栄光の軌跡を、次に最高学年の3年生になる私たちがしっかりと引き継いで行こうという意志が強まった。(鴨志田)